
2018年3月期第1四半期決算説明資料

2017年9月

稲畑産業株式会社

売上高： 1,487億円 対前期比 + 5.1%

円安の効果や合成樹脂事業の好調により増加

営業利益： 22億円 対前期比 △ 28.1%

貸倒引当金の発生等により減益

経常利益： 28億円 対前期比 △ 25.2%

営業利益の減少により減益

親会社株主に帰属する
当期純利益：**29億円** 対前期比 + 16.8%

経常利益が減少したものの、投資有価証券売却益の計上により増益

2018年3月期第1四半期決算に与えた影響

内容	会計処理	金額
差異の原因が判明しなかった在庫	棚卸資産から売上原価へ振替 (営業利益・経常利益の減少)	12百万円
販売予定先によって無断売却された在庫	棚卸資産から未収入金へ振替	1,144百万円
当該取引先に対する債権について	貸倒引当金を計上 (営業利益・経常利益の減少)	771百万円

社内調査委員会による調査報告書の公表と今後の対応について

販売予定先による無断売却について、ドイツ子会社の役職員による共謀・協力・黙認等の意図的な関与の事実は認められなかった。

しかし、現地において業務フローやルールの徹底がなされていなかったことが、無断売却を招いた一因であるため、再発防止推進部会を設け、再発防止に向けて必要な対応を進める。

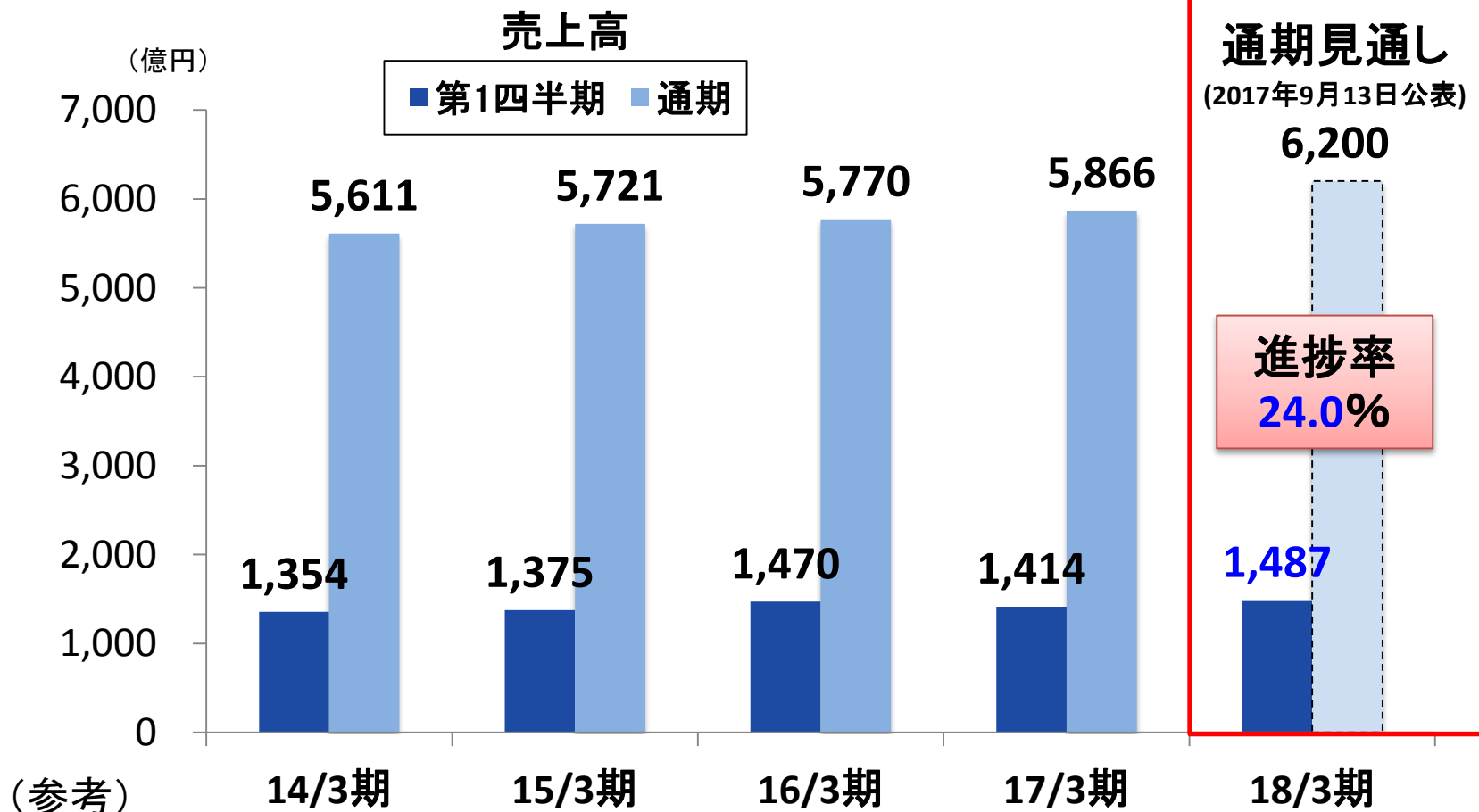
2018年3月期 第1四半期 連結決算総括

(億円)

	17/3期 第1四半期	18/3期 第1四半期 (A)	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	1,414	1,487	+72	+5.1%
営業利益	31	22	△ 8	△28.1%
経常利益	37	28	△ 9	△25.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	29	+4	+16.8%
為替レート USD/円	108.04	111.09	+3.05	

2017年5月11日 公表 通期見通し	2017年9月13日 公表 通期見通し (B)	達成率 (A)/(B)
6,300	6,200	24.0%
125	115	19.4%
130	120	23.6%
100	100	29.4%
110.00	110.00	

売上高の推移

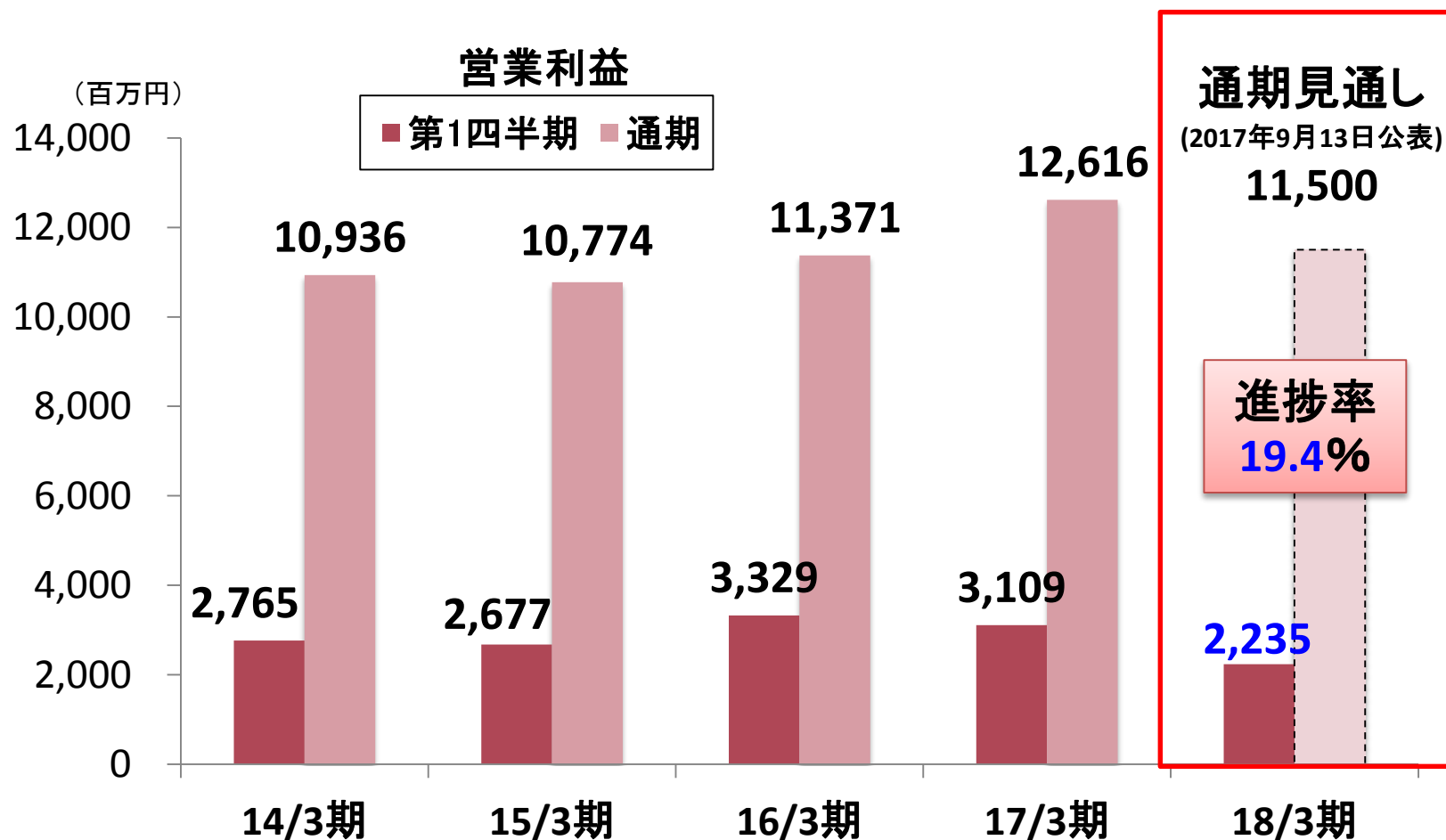


		14/3月期	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期
為替レート USD/円	第1四半期	98.78	102.17	121.43	108.04	111.09
	通期	100.17	109.76	120.15	108.34	(注) 110.00

※18/3期通期見通し 6,300億円(2017年5月11日公表見通し) → 6,200億円 (2017年9月13日修正見通し)

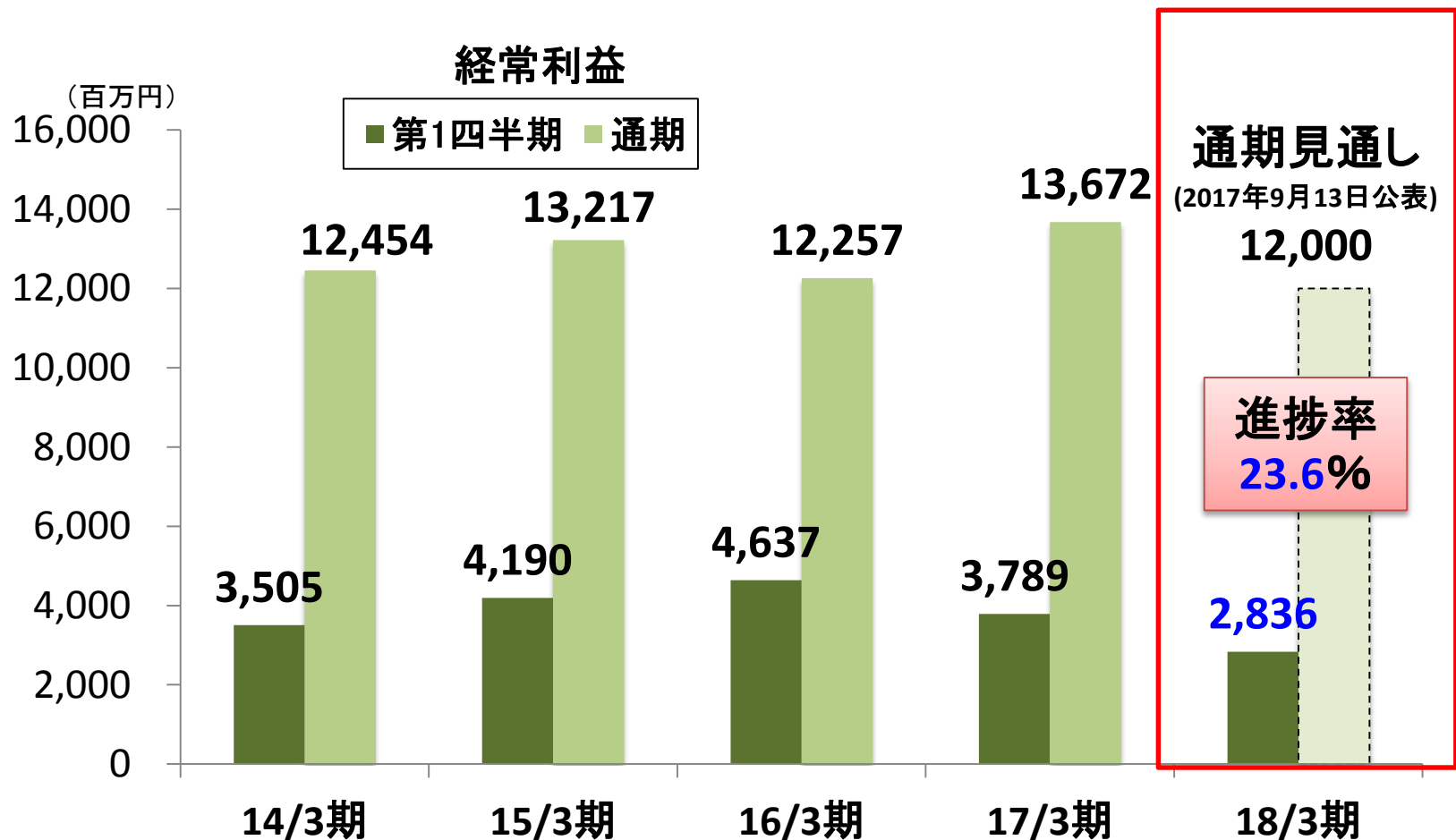
(注)公表時での想定

営業利益の推移



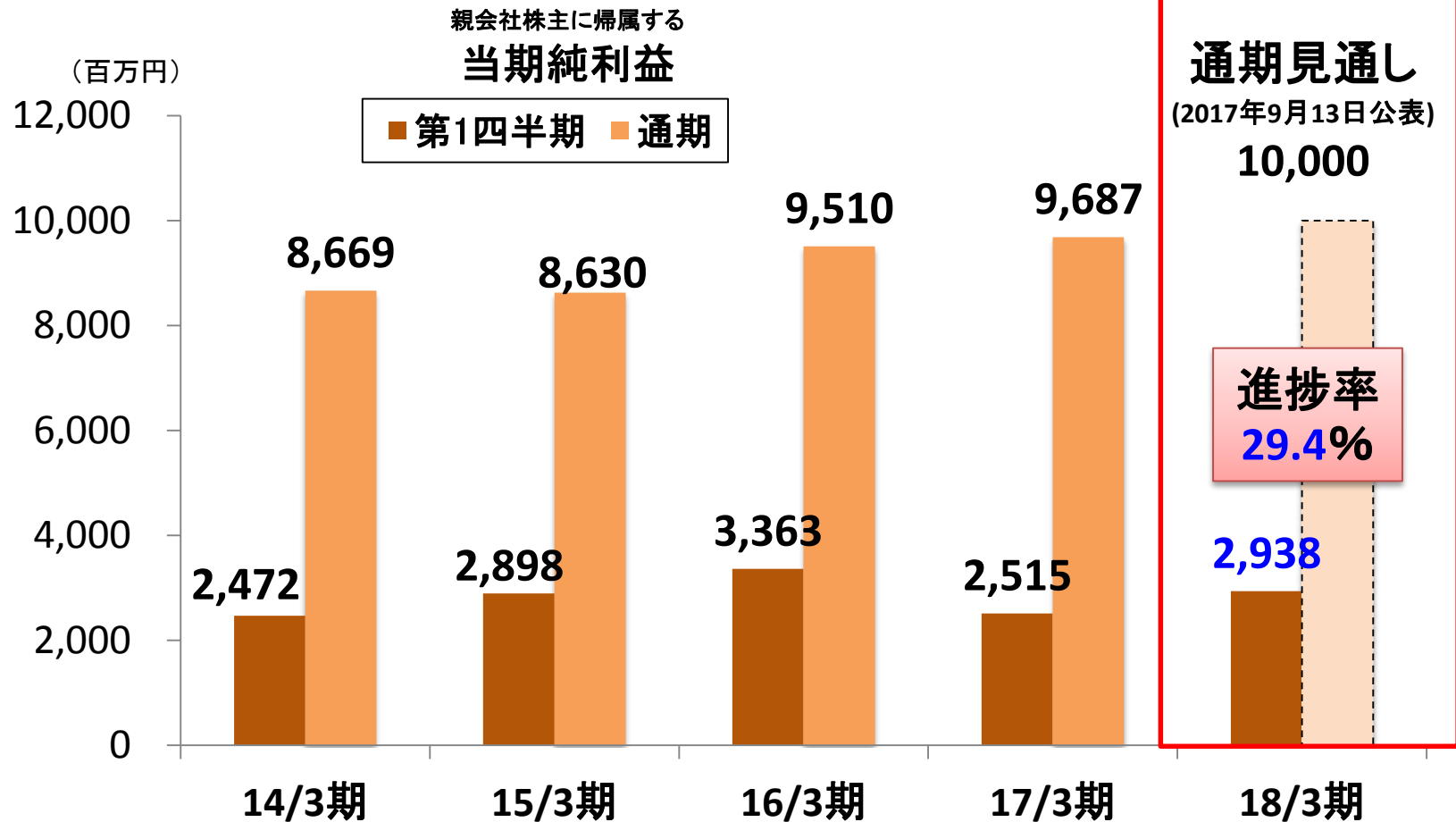
※18/3期通期見通し 12,500百万円(2017年5月11日公表見通し) → 11,500百万円(2017年9月13日修正見通し)

経常利益の推移



※18/3期通期見通し 13,000百万円(2017年5月11日公表見通し) → 12,000百万円 (2017年9月13日修正見通し)

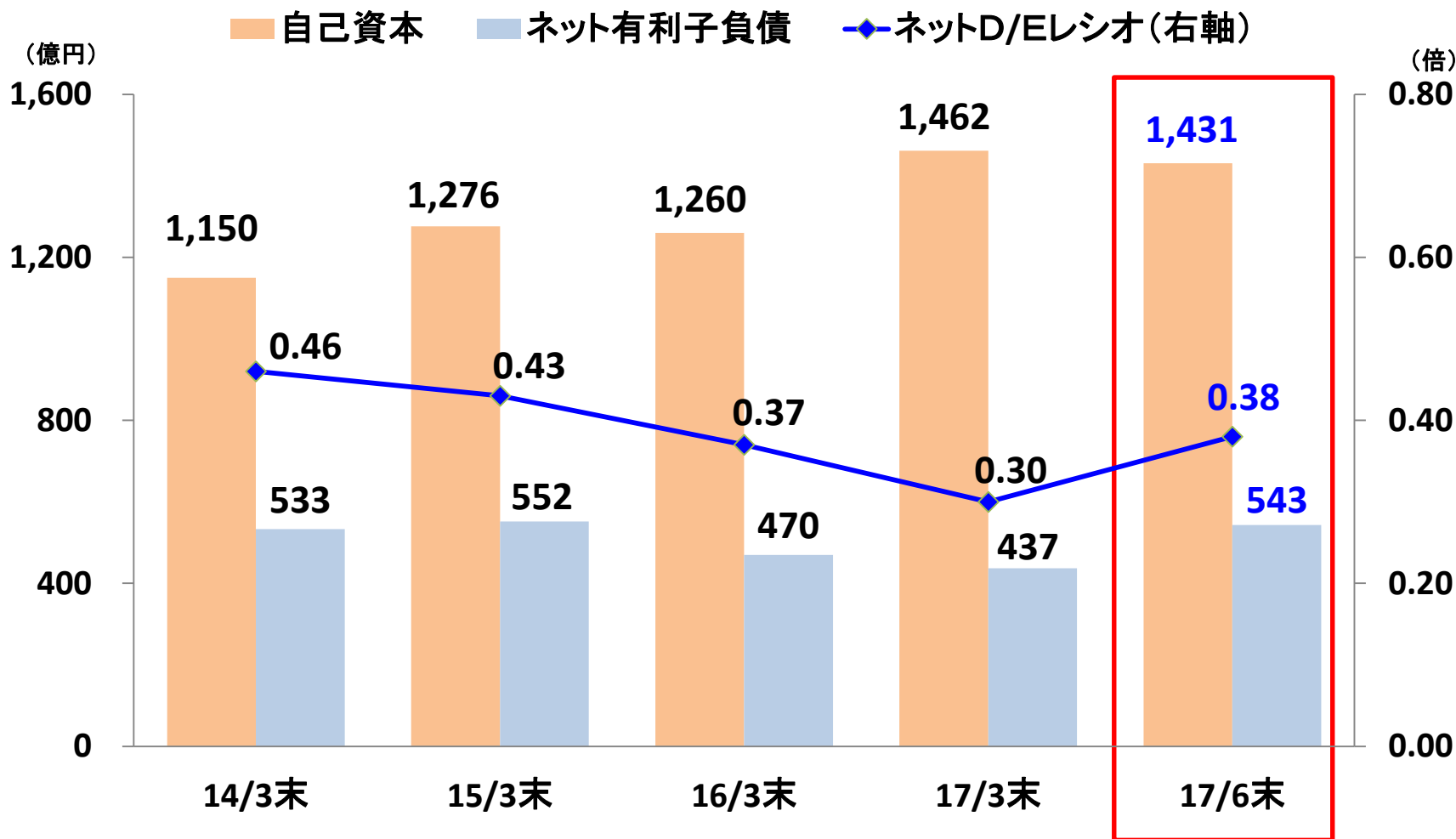
親会社株主に帰属する当期純利益の推移



・保有する有価証券の時価の下落や売却により、投資有価証券が減少

				(億円)			
(資産)	17/3末	17/6末	増減	(負債/純資産)	17/3末	17/6末	増減
現金及び預金	273	228	△45	支払手形及び買掛金	877	889	+11
受取手形及び売掛金	1,573	1,592	+18	短期借入金	518	577	+59
棚卸資産	468	520	+51	その他流動負債	109	104	△4
その他流動資産	68	113	+45	長期借入金	192	194	+1
有形固定資産	113	130	+16	その他固定負債	227	203	△24
無形固定資産	34	33	△0	株主資本	982	997	+15
投資有価証券	811	740	△70	その他の包括利益累計額	480	433	△46
その他固定資産	57	53	△4	非支配株主持分	13	12	△0
資産合計	3,401	3,413	+11	負債純資産合計	3,401	3,413	+11
流動比率	158.4%	156.3%		自己資本比率	43.0%	41.9%	

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



(注) 自己資本 = 純資産 - 新株予約権 - 非支配株主持分
 ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現預金) / 自己資本

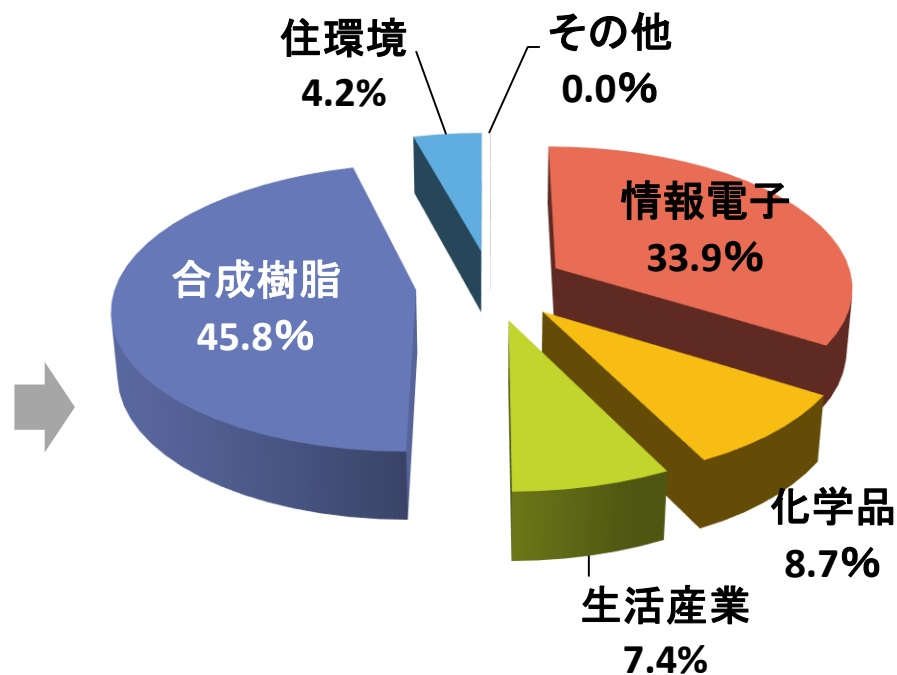
事業セグメント別 売上高

- ✓情報電子事業は、主に台湾向けの偏光板の販売が減少
- ✓合成樹脂事業は、自動車関連を中心とした販売好調やナフサ価格上昇に伴う販売単価の上昇により増収

売上高

(億円)

	17/3期 第1四半期	18/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	530	504	△4.9%
化学品	114	129	+12.9%
生活産業	106	109	+2.9%
合成樹脂	601	681	+13.3%
住環境	61	62	+2.3%
その他	0	0	△10.6%
合計	1,414	1,487	+5.1%



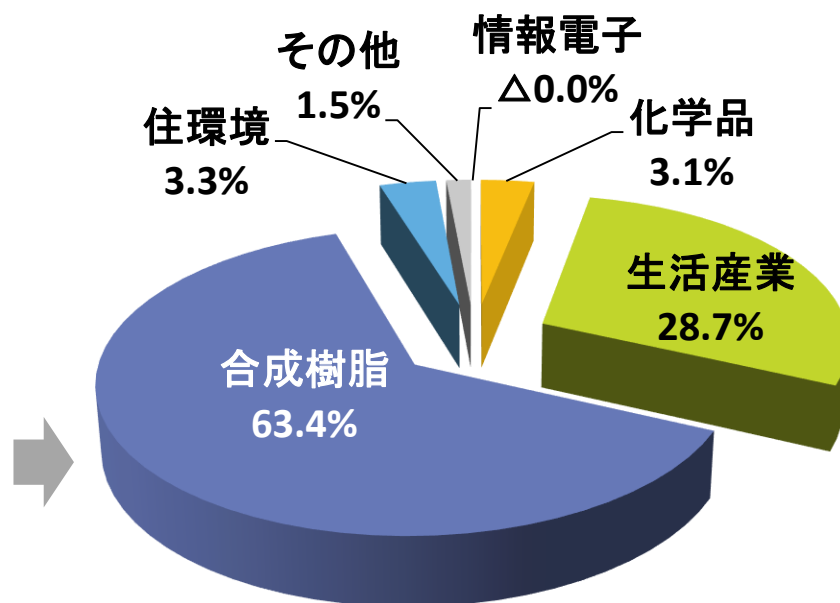
事業セグメント別 営業利益

- ✓情報電子事業と化学品事業は、貸倒引当金の計上等により減益
- ✓合成樹脂事業は、販売の好調や前期にあった貸倒引当金がなくなり増益

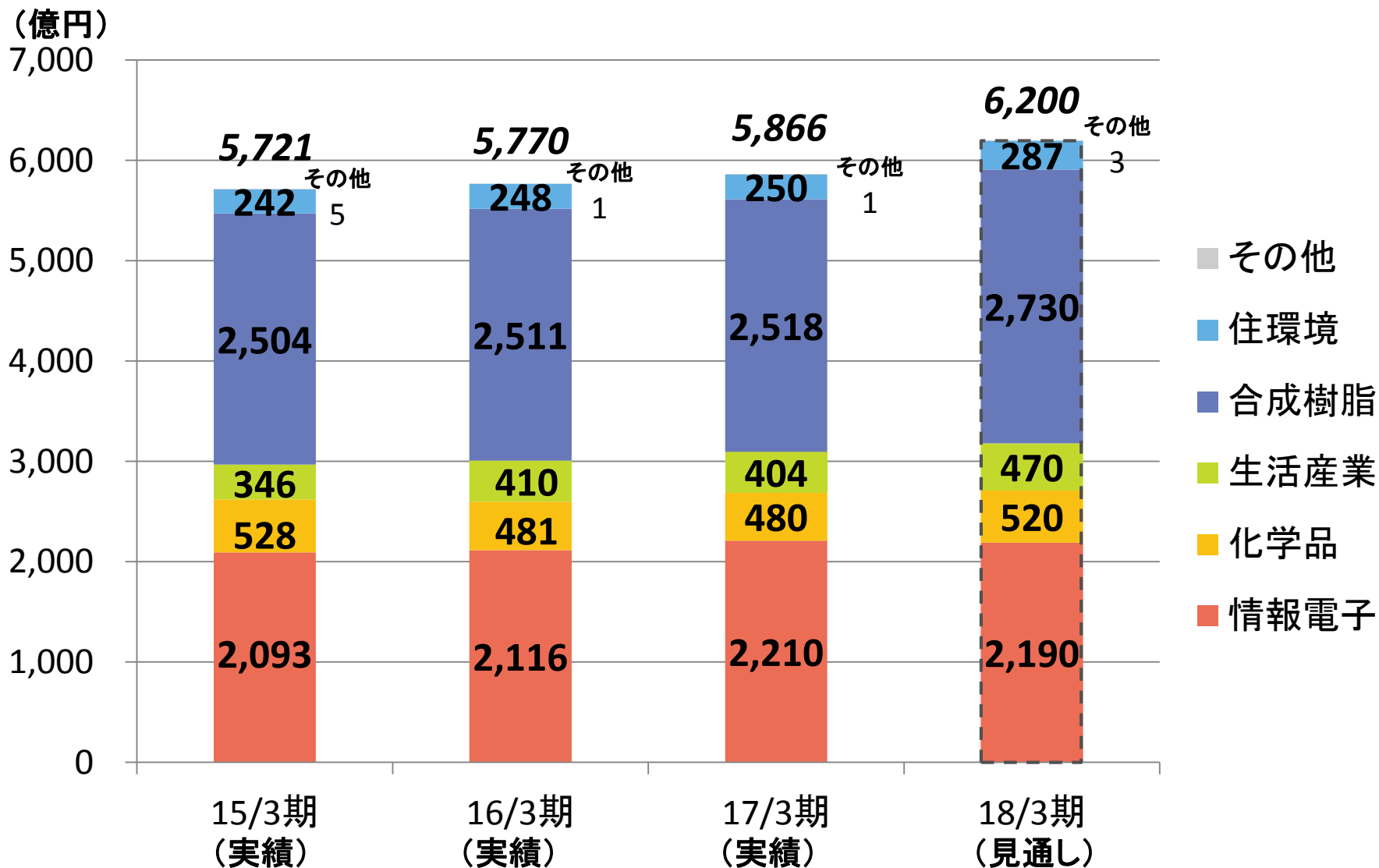
営業利益

(百万円)

	17/3期 第1四半期	18/3期 第1四半期	前年同期比 増減率
情報電子	932	△0	-
化学品	301	70	△76.7%
生活産業	628	641	+2.1%
合成樹脂	1,137	1,417	+24.6%
住環境	71	74	+4.0%
その他	36	32	△11.7%
合計	3,109	2,235	△28.1%



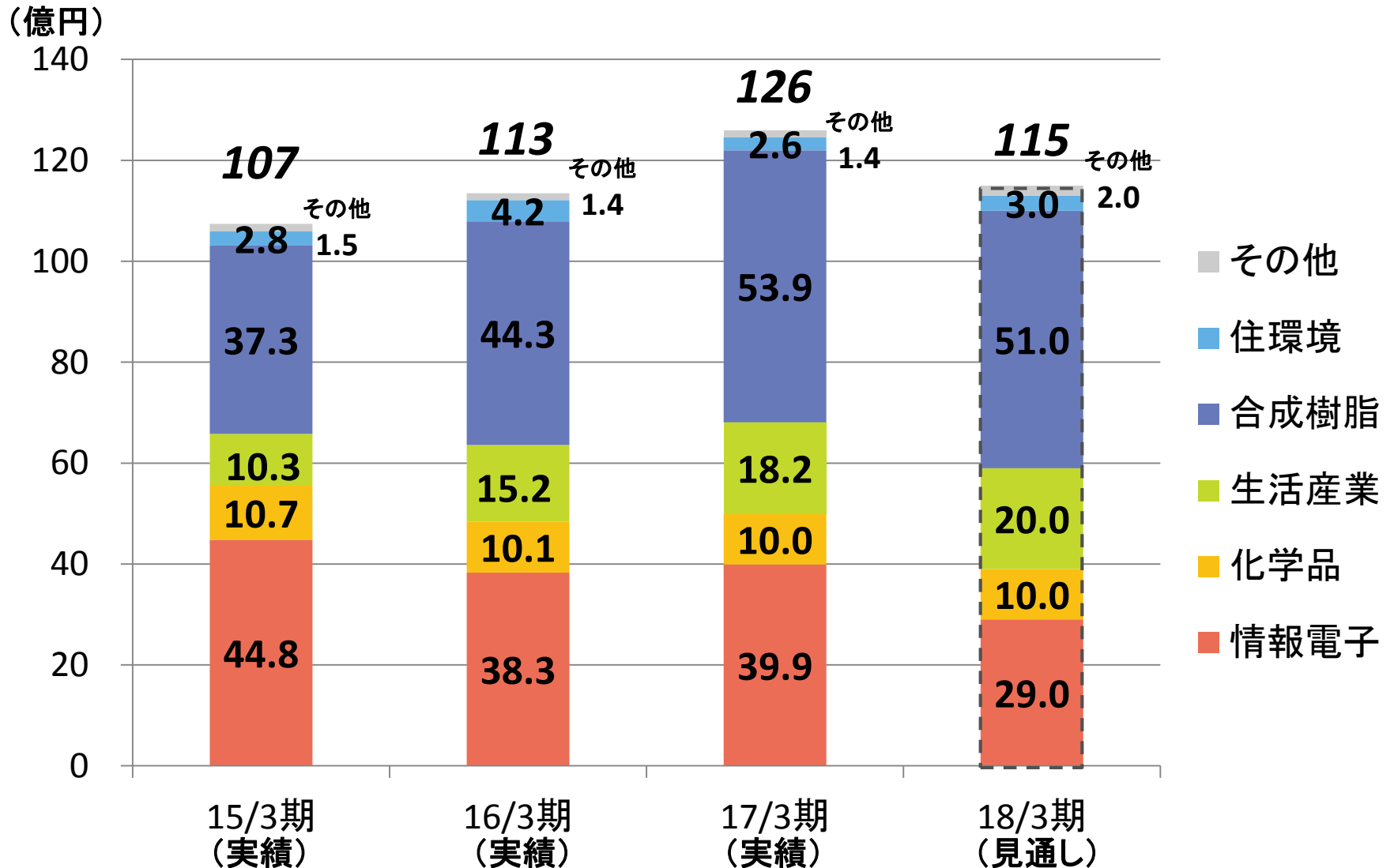
事業セグメント別 売上高予想



(注1) 18/3期通期見通し 6,300億円 → 6,200億円 (2017年9月13日公表見通し)

(注2) 17/3期より、従来「その他」に区分していたクレーン関連事業を「情報電子」に区分しました。16/3期のセグメント情報についても、変更後の区分に基づいて作成しております。

事業セグメント別 営業利益予想



(注1) 18/3期通期見通し 12,500百万円 → 11,500百万円 (2017年9月13日公表見通し)

(注2) 17/3期より、従来「その他」に区分していたクレーン関連事業を「情報電子」に区分しました。16/3期のセグメント情報についても、変更後の区分に基づいて作成しております。

利益還元の方針

総還元性向 30～35%目安

2017年3月期(実績)

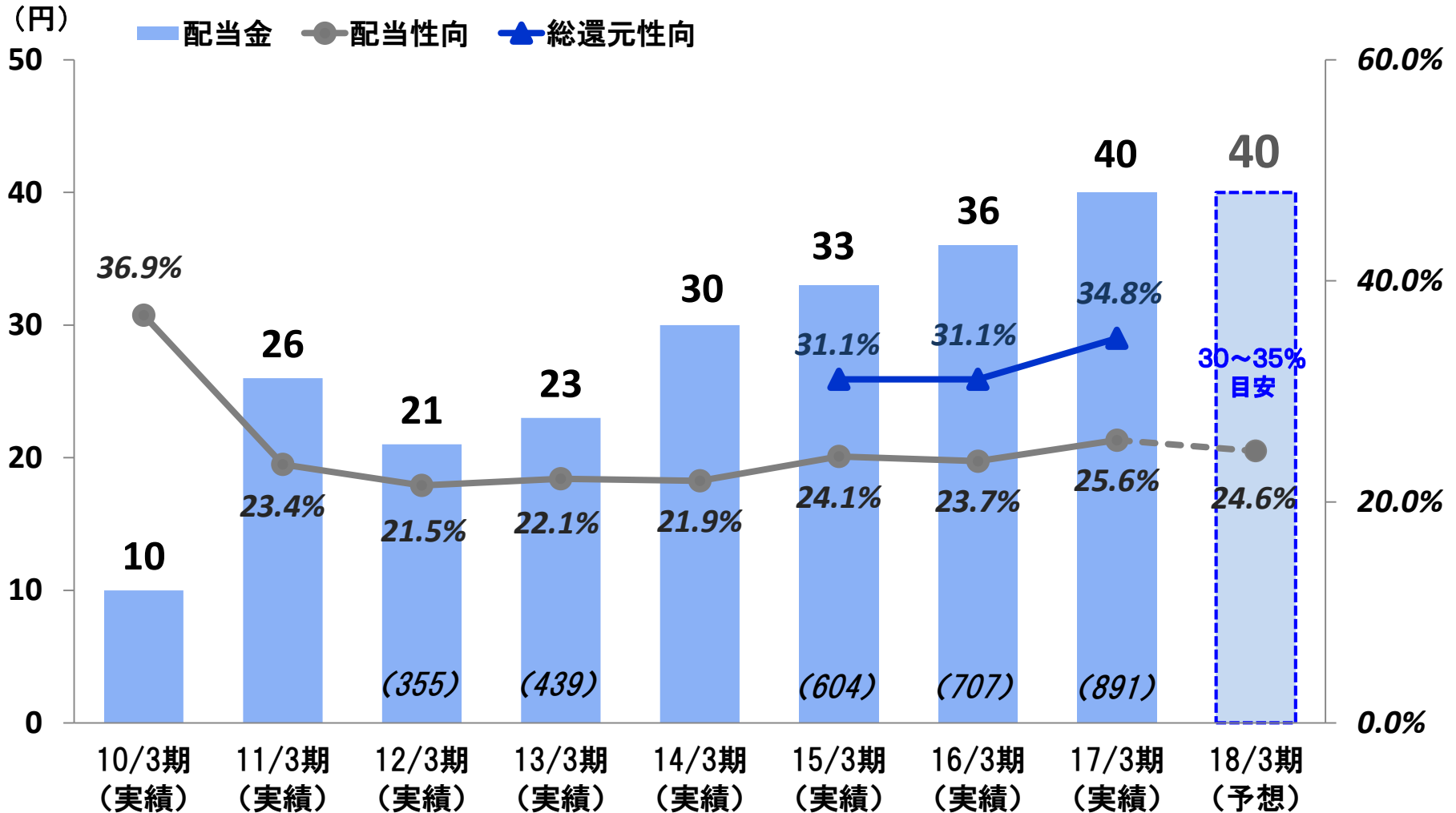
1株当たり配当金	:	40円
自己株式取得額	:	891百万円
総還元性向	:	34.8%

2018年3月期(予想)

1株当たり配当金	:	40円
----------	---	-----

株主への利益還元②

1株当たりの年間配当金と株主還元指標の推移



(注) 棒グラフ下部のカッコ()内は、期中に実施した自己株式取得額(百万円)です。

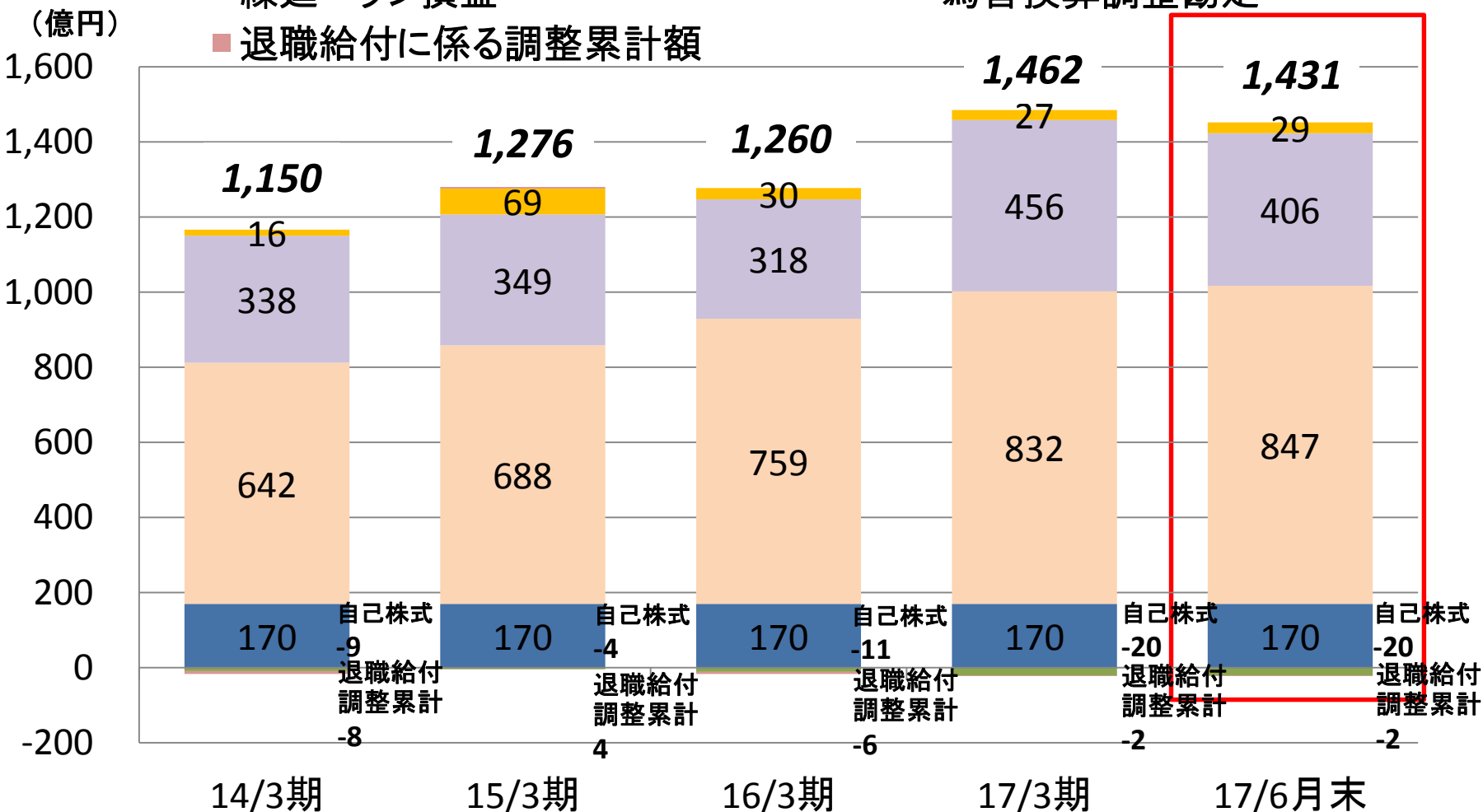
(注) 11/3期は、創業120周年の記念配当2円を含みます。

連結子会社等の状況

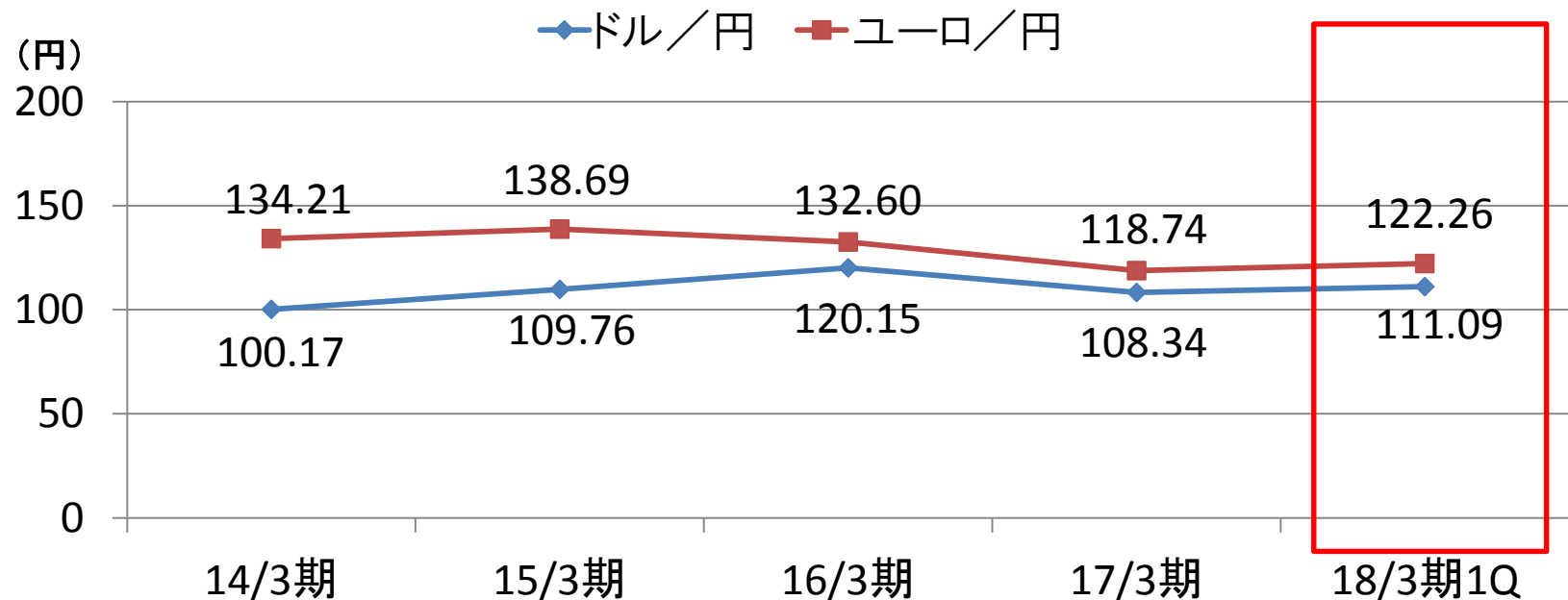
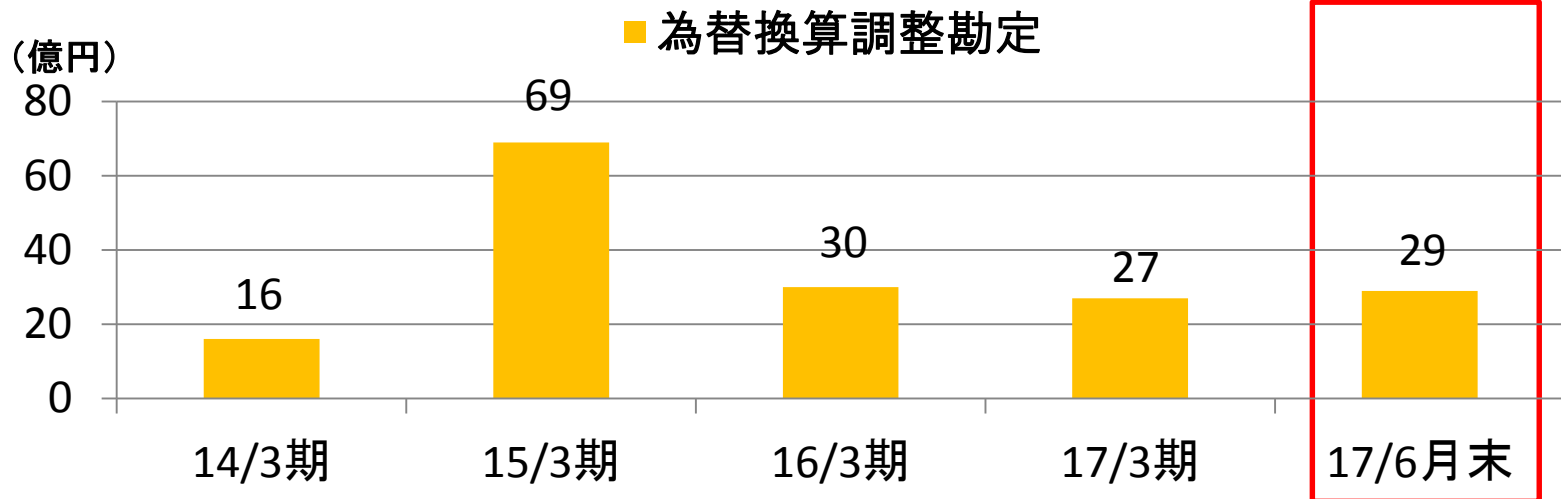
	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	8	36	44
(内 製造業)	(4)	(17)	(21)
持分法適用非連結子会社 及び持分法適用関連会社	4	1	5
(内 製造業)	(2)	(1)	(3)
合計	12	37	49
(内 製造業)	(6)	(18)	(24)

(参考) 自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

TEL 050-3684-4007 FAX 03-3639-6410

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。